

2021年度第1回理事会議事録

日時:2021年4月8日(木)17:00~19:00

会議形式:Web会議

出席理事:田口, 田辺, 松井, 河東, 渡部, 原田, 矢野, 三好, 永井, 繁野, 土谷(途中退室), 諸星, 西松, 森口, 森田, 加地, 古川

出席監事:渡辺, 細田

庶務幹事:河瀬(書記)

事務局:内山

【審議事項】

1. 2021年度 第6回理事会議事録確認

渡部庶務理事より, 資料の説明がなされ, 承認された。田口会長より業績賞の賞金額についての確認があり, 渡部庶務理事より2021年度春大会表彰分までは従来通りの金額として, 同秋大会賞金分からゼロにすることで決定したとの説明があった。なお本件の経緯については, 審議事項3「5 報告2 2021年度収支予算書(賞金額変更事後承認)」において説明がなされた。

2. 入会・シニア・特別会員承認の件

渡部庶務理事より, 入退会の状況について承認された。渡部庶務理事より今までの入退会状況の数字の誤りに対して事務局により修正された数値が入っているという説明があった。また, 年度末での退会者が多く, 厳しい状況であることが説明された。

河東副会長より, トヨタ自動車株式会社(賛助会員A)の退会理由が「有益な情報が得られなくなった」であることについて対策をした方が良いのではないかとコメントがあった。三好理事より退会理由の「最低化」は「最適化」の誤字ではないかと指摘があり, 内山事務局長より修正するとの回答があった。

3. 2021年度総会資料の件

3-1 第1号議案 2020年度事業報告の件

渡部庶務理事より, 資料の説明がなされ, 承認された。田口会長より, コロナ禍での活動が制限される中で, 各支部においてオンラインで行うなど工夫して活動しているとの感想が述べられた。

3-2 第2号議案 2020年度決算報告と監査報告の件

諸星理事より, 2020年度決算の報告がなされ, 承認された。諸星理事より, 学会の厳しい財政状況について下記のような報告がなされ, 田口会長より当初想定の大赤字よりは少なくなったとの感想が述べられた。

- ・負債・正味財産が昨年度に比べて500万円強程度減少した。
- ・経常収入では受取会費が会員減に伴い200万円程度減少の一方, コロナの影響による事業未実施のため500万円減少(その分支出も減少)が見られた。
- ・経常費用では旅費や会議費, 諸謝金など減少が大きく1000万円減少が見られた。
- ・最終的な今年度の赤字額は270万円程度となった。

渡辺監事より、監査についての報告がなされた。公認会計士の立ち会いのもと、財務諸表や付属明細書に誤りがないこと、財産が適正に管理されていることを確認したとの報告がなされた。

3-3 第3号議案 2021-2022年度役員承認の件

渡辺監事より、役員候補者の報告があり、承認された。

3-4 報告1 2021-2022年度事業計画書(参考:承認済)

渡部庶務理事と田口会長により、資料の説明がなされた。

田口会長により支部長会議でのご意見の通り、メーリングリストについては必要としている人がいるので、現状と同じ規模で維持するとの説明があった。また、賞金額の改訂についての説明文に関して、曖昧さがあるとの指摘があった。これを受けて、齟齬がないように、会長、事務局長、庶務理事により補足説明をつけることで対応することになった。

田口会長より、事業計画等について、公益社団法人なので収入を上げすぎてはいけないことを、きちんと押さえておかないといけないとのコメントがあった。内山事務局長により、研究発表会単体で収支を合わせるのではなく、公益事業全体でバランスを取れば良いとの説明があった。また、FMESの事務局業務による事務手数料に関して、定款に書かれておらず、公益事業ではなく収益事業と見なされることから、法人税免除がなされなくなるとの公認会計士の見解が説明された。

田口会長より、機関誌の電子化について、非会員への無償公開や会員限定の公開方法、移行に対する丁寧な説明などを中心に検討を進めないといけないとコメントがあった。

3-5 報告2 2021年度収支予算書(賞金額変更事後承認)

諸星会計理事により収支予算の説明がなされた。収入面では会員減と大会オンライン開催を想定し、支出面は諸謝金(賞金減額)の他は前年度と同程度として積算した結果、赤字額は100万円程度となる。

田口会長により賞金額訂の経緯について、2021年度春大会表彰分である業績賞の賞金は、前回理事会ではゼロにすると決まったが、既に受賞者が決まっていたため、従来通りの金額で授与するように予算額を変更したとの説明があり、承認された。内山事務局長より補足説明があり、2021年度予算では業績賞(30万円と振込手数料1000円)が盛り込まれていることが確認された。田口会長より、予算の赤字について、すぐに改善できるものではないので1,2年先を考えて動く必要があるとのコメントがあった。赤字の原因として60周年記念事業による影響が挙げられ、賞金増額や海外派遣事業に関しては元に戻したので、残りの大きい影響である部会費や支部への支援の増額について、それぞれの理事にどのようにするのが良いか考えるよう要望があった。また、渡部庶務理事より、昨年度初めに各担当理事により事業見直しについて検討したので、新年度になったらもう一度検討し、継続的に理事会として見直しを行うのが良いとの見解が示された。

三好研究理事より、部会の活動費について、それぞれの部会ではある程度の金額を残して運営しているので、配分を減らしても大きな影響はないと思われるし、また適切に運営されていて、減額の意味は実質的に小さいとも考えられるとの見解が示された。また、研究部会の追加補助金について、ICCOPTの時の黒字を原資としていて、追加補助金を使っているRAMPは毎年多くの黒字分の返納を行なっていることが指摘された。田口会長より、ORの発展のために有用なものは減らしたくないので、まずは学会誌を電子化することでコスト削減を行うと説明がなされた。また、そのためにはWebサイトの改善が必要であると述べられた。

内山事務局長より、総会資料は総会予定27日の2週間前である13日に資料を送る必要があるため、それに間に合うように修正を行う必要があるため、修正が必要な箇所がある場合、会長と庶務理事、事務局長に連絡するようにとの依頼があった。

4. 2021年度理事会等日程の件

渡部庶務理事より、理事会日程の説明があり、承認された。田口会長より、新型コロナが収まればハイブリッド形式での開催も考えたとの説明があった。

5. 2021年度委員及び幹事委嘱の件

渡部庶務理事より、各種委員と庶務幹事の委嘱について説明があり、承認がされた。三好理事と森口理事よりJORSJ編集委員の福田委員、朝日委員、増山委員の所属と連絡先について、変更になっているとの指摘があった。担当の土谷編集理事が退室済みのため、事務局から同理事へ確認依頼の連絡をすることになった。

6. 2021年秋季研究発表会・シンポジウム予算の件

古川大会理事により、資料の説明があり、承認された。その中で、予算は春季の数字を元に作成しているが、研究普及委員会からの意見により下記の3点を変更しているとの説明があった:(i)参加費の増額、(ii)非会員と会員の差を大きくする、(iii)アブストラクトが必要なれば期限後も申し込み可とする。また、三好研究理事により詳細な経緯の説明があった。

7. 2022年春季研究発表・シンポジウム日程・会場の件

三好研究理事により2022年春季研究発表会について説明があった。シンポジウムは2022年3月16日、研究発表会は2022年3月17日・18日ということで承認がされた。現地開催を検討中であり、会場の候補としてGメッセ群馬(高崎から徒歩15分程度)と群馬大学(前橋からさらにバスに乗って移動が必要)の2つが挙がっており、交通の便の関係から研究普及委員会ではGメッセ群馬が望ましいとの見解が示され、理事会でも同意された。

8. 2021年研究グループへの追加補助金の補助対象及び金額

三好研究理事により、RAMPから追加補助金の申請がある旨説明があり、承認された。

9. 2021年度ORセミナー年間計画の件

永井普及理事により、年間の計画案が説明された。より具体的には、定期的なセミナーが2件、統計数理研究所との特別回1件、2022年春頃の1件を計画しているという説明があり、承認された。最後の1件に関しては、普及理事の交代による空白期間を防ぐべく、前もって準備しておくことが重要であるとの説明がなされた。

10. 規程改訂の件

原田庶務理事により、2019年度の後半に議論されていてペンディングになっていたものを担当理事と相談し出したものである旨が示された。修正しないといけないものに、(i)理事会の方で既に承認されているが修正が完了していないもの、(ii) ExcelからWordに移行する際に誤植が紛れ込んだが修正中のもの、(iii)2019年度の後半で追加修正するという意見を理事から寄せられたが承認がまだのもの、の3通りあり、最後のものを急ぎ対応したものであるとの説明があった。

10-1 会計関連規程の改訂

原田庶務理事により現在の運用と違うところを修正したものである旨が説明され、承認された。

10-2 OR機関誌関連規程の改訂

原田庶務理事により説明がなされ、合併号についてと編集委員の規程について承認がされた。ORwikiに関して、田口会長により、現在メンテナンス中として公開されていないが、サーバを移行した際に見られるようにしたいとの見解が示された。森口広報理事によりweblioなどのフリーの外部で公開されているのをどうするか広報委員で議論中だと状況が説明された。渡部庶務理事により、広報委員が管理している実態に合わせるようにするのが良いとの意見が出た。ORwikiに関する規程は現状維持とし、移行後に修正するとのこと決定した。

10-3 広報関連規程の改訂

原田庶務理事より、電子媒体などどこが管理するかで規定の文言を変更したものであるとの説明がされた。また、森口理事よりメーリングリストの変更についてなど確定していない状況で作成した修正案であるが、どちらの状況も包含した案であることが説明された。新しい規程に変更ということで承認された。

10-4 表彰関連規程の改訂

原田庶務理事より、表彰規程と近藤賞規程の改訂について説明がなされ、承認された。表彰規程の賞金額に関しては、2019年に検討した内容と現状が異なるため、3-5と矛盾しない形で2021年より(近藤賞を除き)原則賞金額は0と記載した旨、原田庶務理事より説明があった。また、近藤賞規程に関しては、本来は近藤賞選考委員会で検討すべきものであるが、暫定的に松井表彰委員長の方で検討したものであるという説明が、松井表彰委員長よりなされた。

11. 支部会計監査廃止の件

森田支部理事より、支部長会議での議論を踏まえて、支部会計監査を廃止するという目的のために、関連する規程を変更する提案がなされた。以前は支部でも監査を実施し、本部でも改めて監査を実施していたが、コロナ禍で手間を軽減したいという要望が中部支部からあり、事務局からは対応可能だが、関連する規程の変更が必要との回答があった事が背景にある。主要な改定理由は上記のとおりであるが、関連する支部規程(中部支部, 中国・四国支部)に関する改定も提案され、併せて軽微な誤字脱字等の修正も含まれる旨も、森田支部理事より説明があり、全て承認された。

【報告事項】

12. 研究助成申請推薦に関する内規の新設

西松渉外理事より、研究助成申請の推薦について規程がなかったので、内規を新設するとの報告がなされた。

13. 2020年度研究部会活動報告と決算の件

三好研究理事により決算の報告がなされた。

14. MLの今後と新Webサイト運営の件

田辺広報委員長により、MLについては存続することに決定し、広報委員で維持管理を行う旨が説明された。また、新WebサイトについてWordpressを利用して、手軽に編集できる

ように構築されているという説明がなされた。森田支部理事より、編集をする側の視点では有用だが、情報更新があった際のMLの通知機能の役割は重要であるという意見が示された。

15. 代表理事の職務執行報告(2020年度後半)

田口会長により資料の説明がなされ、各代表理事からの報告事項が確認された。

16. 次回理事会予定について

渡部庶務理事により、臨時理事会及び第2回理事会についての説明がなされた。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2021年度 第1回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 田 口 東

（副会長） 代表理事 河 東 晴 子

（副会長） 代表理事 松 井 知 己

（副会長） 代表理事 田 辺 隆 人

監 事 渡 辺 隆 裕

監 事 五十嵐 順 子